

水土里ネットおおいた

# 土地改良広報 No.346



後列左より 森下事務局長 河津建設(株)河津会長 小山総括 安東審議監 近藤理事 佐藤事務長 佐藤事務局長 加藤常務理事  
前列左より 宮久監事 河野総括監事 足元理事長 是永副会長 出納理事 義経会長 湯浅理事長 小山副会長 猪野副理事長 本田総括監事

## Contents

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| 02 会長あいさつ                                      | 12 県・連合会の職員配置             |
| 03 安東参与兼計画部長 就任挨拶                              | 13 水土里ネット大分 各部課所長の紹介      |
| 04 トピックス                                       | 15 退職者の紹介                 |
| ・全国水土里ネットが通常総会並びに表彰式を開催                        | 15 令和7年度新規採用職員の紹介         |
| 05 会議・要請活動                                     | 17 令和6年度 資格取得者            |
| ・大分ため池技術研究会が技術講演会（1月29日）・現場研修会（2月13日）を開催       | 18 第11回大分県土地改良振興大会開催のお知らせ |
| ・大分県土地改良区事務局連絡協議会研修会の開催                        |                           |
| ・令和6年度第3回監事会・監査及び第3回理事会                        |                           |
| ・令和6年度土地改良区監査実務等向上研修会の開催                       |                           |
| ・土地連九州協議会 会長・事務責任者会議が開催                        |                           |
| ・大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム2024（多面的機能支払 活動組織 事例発表会） |                           |
| ・第67回通常総会が開催                                   |                           |



# 会長 新年度挨拶

大分県土地改良事業団体連合会

会長 義経賢二

春陽の候、会員ならびに関係者の皆様方におかれましては、日頃より土地改良事業の円滑な推進と農業・農村の振興、ならびに本会の運営につきまして、格別なご理解とご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

昨年、大分県では台風10号により県内全域で農地・農業用施設に甚大な被害が発生しました。本会も災害支援協定に基づき、災害対策課を中心に全職員で被害状況の調査、査定設計書の作成等、最大限の対応を行いました。このように激甚化・頻発化する災害による大規模災害発生時の農地・農業用施設などの早期復旧には、調査・設計など多くの専門的な人材が必要になります。当会も最新の機械を導入し迅速に対応できる体制の強化を図っております。また、市町村職員の技術力向上の一助となるべく災害復旧事業研修会等を行い、災害が発生した際は市町村職員と連携して早急な復旧に努めたいと考えています。

さて、農政の憲法といわれる「食料・農業・農村基本法」が昨年5月29日に改正されました。この基本法は、(1)食料の安定供給の確保(2)農業の有する多面的機能の発揮(3)農業の持続的な発展と(4)その基盤としての農村の振興を基本理念として掲げ、国民生活の安定向上及び国民経済の健全な発展を図ることを目的としています。また、これまでは「農業生産の基盤の整備」に重点が置かれてきましたが、今回の改正により「農地や地域の保全」に関する条文が追加されました。この保全とは農地や農業用施設の維持管理を行い次世代に引き継ぐことであり、保全を行っている土地改良区の役割はさらに重要性が増してくると思います。

次に、今年度の農業農村整備事業関係予算は、当初予算では4,464億円、令和6年度補正予算を含めて6,500億円(対前年比104%)が確保されました。これもひとえに会員であります土地改良区、市町村のご協力ご支援によるものです。さらには、二階全土連会長をはじめ、全国水土里ネット会長会議の進藤金日子顧問、宮崎雅夫顧問など多くの方々のお力添えのおかげだと思っております。この場をお借りして感謝申し上げます。

最後になりますが、連合会としても今まで以上に会員の皆様の声を聞くために、今年度より計画部を創設しました。この計画部には会員支援課とため池保全サポートセンター、そして新設した企画課があり、会員の皆様の生産基盤の整備・保全に必要な要望を聞き取り、事業の企画を行い、会員が求める事業の推進を迅速化していきたいと考えています。今後も皆様の負託に応えられるよう『「水」「土」「里」の資源を、次世代に』の思いを胸に業務執行に努めてまいります。

本年度も、県をはじめ関係機関との連携を図り、会員の皆様の利益増進につながる事業活動を積極的に展開する所存でございます。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。



# 安東参与兼計画部長 就任挨拶

大分県土地改良事業団体連合会

参与兼計画部長 安東 正 浩

このたび、大分県土地改良事業団体連合会参与兼計画部長に就任しました安東です。会員並びに関係者の皆様方には、今後、色々とお世話になると思っておりますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

また、常日頃より会の運営並びに土地改良事業の推進に対し、多大なるご尽力、ご支援を賜っており、心からお礼申し上げます。

さて、農業・農村を取り巻く情勢は、国際情勢の不安定化による食料安全保障のリスクの増大や、多様化する市場・消費者のニーズ、人口減少の加速化、さらには気候変動による自然災害の頻発・激甚化等、大きく変化しています。

こうした中、国では食料・農業・農村基本法に基づき基本計画の策定し、今後、5年間で「農業構造転換集中対策期間」とし、農政の再構築に向けた集中的な取り組みを行うとともに、土地改良に関しても、農業水利施設が将来にわたって、適切に機能を発揮し続けられるよう土地改良法の改正が行われたところです。

また、大分県では、令和7年3月に「おおいた農業農村整備推進プラン2024」を策定し、「元氣な担い手・産地づくりに向けた生産基盤の強化」、「農業生産を支える農業水利施設の計画的な更新整備と適切な保安全管理」、「安全安心な農村づくりに向けた防災・減災対策」、「土地改良区の運営基盤強化と多面的機能の発揮」の4つの柱で生産基盤の整備を進めていくこととしています。

本会においても、こうした取組を国や県と一体となって推進していくため、本年度に新たに計画部を創設したところです。今後、会員である土地改良区や市町村の皆様からの意見や要望を丁寧に聞き取り、具体的な事業化に向けた支援をしっかりと行っていきます。

また、農業生産基盤の保全や土地改良区の運営基盤の強化に向けて、地域内の関係者が連携して地域の農業水利施設の保全に取り組むための計画、いわゆる水土里ビジョンの策定についても会員の皆様と一緒に取り組んでいきます。

加えて、農業農村整備事業関係予算に関しては、令和6年度補正予算を加えると、令和7年度予算が6,500億円となり、対前年比で104%の伸びとなっています。今後も都道府県水土里ネット会長会議顧問である進藤金日子・宮崎雅夫両参議院議員のご支援を仰ぎながら農業農村整備推進協議会並びに土地改良区理事長会等の関係団体と連携を図り、関係各所に強く要請活動を行ってまいります。

いずれにしても、本年度は会員の皆様並びに農業農村整備関係者にとっても大変、重要な年です。「戦う土地改良」のもとで、全国の仲間が一致団結して取り組んでまいりましょう。

私もこれまでの経験を生かし、会員の皆様とともに農業農村整備の推進に全力で取り組んでいく所存でありますので、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

結びに、会員並びに関係者の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

## 全国水土里ネットが通常総会並びに表彰式を開催

3月26日（水）、全国水土里ネット（二階俊博会長）は東京都の全国都市会館において第67回通常総会を開催した。

冒頭、全国水土里ネットの二階会長あいさつでは、昨年6月に改正された「食料・農業・農村基本法」を踏まえ、今国会で食料安全保障と国土強靱化にむけた「改正土地改良法」が審議されている。改正される土地改良法に則り、予算を最大限に活用し、その役割を果たしてくと述べられ議事では、総会提出の10議案が全会一致により承認された。

また、今回の役員改選で全国水土里ネット理事「3期10年（副会長2期6年）」を退任することとなった、義経賢二副会長（水土里ネット大分会長）へ二階会長より感謝状が贈呈された。

総会后、会場をシェーンバッハ・サボーに移し全国水土里ネット表彰式が開催され、第66回全国土地改良功労者等表彰と農業農村整備優良地区コンクールが執り行われた。大分県からは第66回全国土地改良功労者等表彰の全国水土里ネット会長表彰として、団体（呉崎北部土地改良区）、個人（日田市土地改良区 吉秋継徳理事長、宇田枝井路土地改良区 衛藤講治理事長、岩戸井路土地改良区 羽田野文昭理事長、富士緒井路土地改良区 岡部鎮宏事務局長、大分県土地改良事業団体連合会 森下健二事務局長）が表彰された。

農業農村整備優良地区コンクールでは、農地中間管理機構関連農地整備事業により圃場の大区画化等の条件整備を図り作業効率の向上、高収益作物の栽培を可能としたことで新規就農者や企業参入による担い手不足の解消につなげる等、地域の活性化に取り組む活動が評価された竹田市の高源寺地区が農業振興部門で全国水土里ネット会長賞を受賞した。



全国水土里ネット 第67回通常総会



二階会長と義経会長



第66回全国土地改良功労者等表彰（二階会長との記念写真）  
二階俊博全国水土里ネット会長を囲んで左より 義経会長（全国水土里ネット副会長）、日田市土地改良区 吉秋理事長、宇田枝井路土地改良区 衛藤理事長、大分県土連 森下事務局長、呉崎北部土地改良区 石掛理事長、富士緒井路土地改良区 岡部事務局長、宮崎雅夫参議院議員



全国水土里ネット 表彰式

# 会議・要請活動

## ●大分ため池技術研究会が技術講演会（1月29日）・ 現場研修会（2月13日）を開催

本研究会は平成29年に、ため池の改修や維持管理等にかかる様々な課題解決に向けて、産学官が連携してため池に関する技術力の向上を図るとともに、農業土木技術を継承し、もって大分県農業・農村の振興発展に寄与することを目的にスタートした。

技術講演会は、大分市コンパルホール文化ホールを会場に約190名が出席し開催された。

基調講演は、「農業・土木・環境分野における土の機能と改良および評価」と題し、(株)立花マテリアル技術顧問（工学博士）久保様より講演をいただいた。

発表では、「地質状況を考慮すべきケースの土取場調査について」「ため池防災・減災のための調査・設計・施工の留意点について」「遮水シート工法施工時に留意する事例について／ベントナイトシート施工時の注意点について」「ため池整備構想（小規模化）策定について」を演題に各部門から発表があり、それぞれの発表に対し多くの議論が交わされた。



開会のことば  
大分ため池技術研究会  
副会長 義経賢二



主催者あいさつ  
大分ため池技術研究会  
会長 大坪政美



大分県農林水産部  
農地・農村整備課  
小林課長来賓挨拶

現場研修会は、約100名が出席し、ため池整備の堤体内仮設工事における泥土の取り扱いについて、泥上掘削機を使用し工期短縮を図った事例および底樋工の推進工法・プレキャスト底樋管の設置を実施中の現場を研修した。現場技術者をはじめ会員の技術力向上と、ため池技術者にかかる課題解決に向けた関係者相互の連携を図る一助を目的に開催された。

研修は、大分県北部振興局宇佐総合庁舎にて「事業地区概要について」「ため池工事の施工について」「小型泥上掘削機について」「プレキャスト底樋管について」の説明があり、その後、工事が進められている宇佐市魚ヶ鼻池に移動し、現場にて施工方法等の説明が行われた。



室内研修



現場研修

## ●大分県土地改良区事務局連絡協議会研修会の開催

1月31日（金）に亀の井ホテル別府にて「大分県土地改良区事務局連絡協議会研修会」が行われた。この協議会は、土地改良区の自主性確保と適正な管理・運営とあわせて、土地改良区事務局職員の親睦を図ることを目的に平成6年11月に設立された。

研修会では、人権啓発講師かつ昭和宮三土地改良区事務長である渡邊久洋講師より「人権は私の身だしなみ」の講義をいただいた。また、土地改良区の実務を担う職員により「賦課徴収」「土地改良区会計」「施設維持管理」を題材にワークショップ形式での研修を行い、土地改良区の諸問題解決に向けた意見交換が行われた。

最後に大分県土地改良事業団体連合会 義経会長より「土地改良はどの様に行われて来たか」の講義をいただき、より充実した研修内容となった。



ワークショップ



義経会長より講義

## ●令和6年度第3回監事会・監査及び第3回理事会

2月5日（水）、第3回監事会が開催された。

令和6年度の補正予算案、令和7年度の当初予算案について審議いただき、第3回理事会に諮る旨承認を受けた。最後に、田中総括監事が国の動向も確認しながら健全な運営に努めていただきたいと述べ監事会を終了した。

2月14日（金）に第3回理事会が開催された。令和6年度の補正予算案と令和7年度の当初予算案、また第67回通常総会の提出議案について審議され、いずれも原案どおり承認された。最後に県農地計画課の森迫課長より、農業農村整備事業に関する情勢報告について情報提供をいただき、理事会を終了した。



第3回監事会



第3回理事会

## ●令和6年度土地改良区監査実務等向上研修会の開催

2月12日（水）に土地改良会館5階大会議室において、「令和6年度土地改良区監査実務等向上研修会」を開催した。県下の土地改良区より監事を中心に81名が参加する中、九州農政局土地改良管理課 石村土地改良指導官、大分県農地計画課土地改良指導・換地班 久住総括、弁護士法人いつき法律事務所より生野弁護士の3名を講師としてお招きし、土地改良区の役員の職務、監査のあり方、土地改良区運営の透明性について研修を行った。各講師より監査のポイントや監事の権限、不祥事の防止対策等について、検査の主な内容及び指摘事項等の詳細、また、土地改良施設の他目的利用について講義があり、分かりやすく丁寧に、かつ具体的に説明いただき、研修終了後は活発な意見交換等も行われるなど充実した研修内容となった。



## ●土地連九州協議会 会長・事務責任者会議が開催

3月18日（火）令和6年度土地改良事業団体連合会九州協議会（会長 義経賢二大分土連会長）会長・事務責任者会議が大分市にて開催された。

事務責任者会議においては、令和7年度九州協議会政策提案項目について各県の専務・常務理事より議論がなされた。また、引き続き開催された会長・事務責任者会議においては、九州農政局 細井農村振興部長のあいさつの後、青木設計課長、新開土地改良管理課長より国の情勢報告がなされた。意見交換では、本会の義経会長より国に対して、農地等災害復旧事業に係る地元負担の軽減についての要望がなされた。



会長・事務責任者会議



意見を述べる義経会長

## ●大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム2024 (多面的機能支払 活動組織 事例発表会)

3月7日(金) 土地改良会館 5階大会議室にて農村の活性化や県内活動組織の取組への意識向上を図るとともに、更なる取組面積の拡大や組織の広域化推進を目的に開催をした。当初は令和7年2月6日(木)にコンパルホールにて500名規模での開催を検討していたが大雪の影響で延期を行い150名規模での開催となった。

開催にあたり県内活動組織等の会場出席152名、Web出席80名が参加した。事例発表では県内活動組織の4組織が発表した。発表組織は15分間の持ち時間の中で活動を通じた経験談や課題点等の発表を行い他の組織からの活発な意見や感想をいただいた。

全組織発表後は大分県日本型直接支払検討委員会 衛藤めぐみ委員より講評をいただき、大分県多面的機能支払推進協議会 義経会長より感謝状及び記念品授与を行った。

令和6年度 活動事例発表組織

(日 出 町) 北大神地区農村環境保全会議 (小石代表)

(豊後大野市) 千歳町保全高畑 (足立代表)

(豊後高田市) 豊後高田市多面的機能支払協議会 (後藤副代表)

(中 津 市) 牛神保全会 (岩崎代表)



宮崎顧問ビデオメッセージ



活動組織事例発表



感謝状授与



左より 岩崎代表、後藤副代表、足立代表、小石代表、義経会長

## ●第67回通常総会が開催

3月25日（火）、土地改良会館大会議室において第67回通常総会を開催した。来賓として佐藤樹一郎大分県知事、緒方和之九州農政局長の代理として渡辺裕一郎九州農政局次長、淵野勇大分県農林水産部長らにご臨席いただいた。

総会に先立ち土地改良事業に功績のあった土地改良区会員個人10名、県関係個人3名、本会職員1名、感謝状贈呈1社をそれぞれ表彰。受賞者を代表し会員個人表彰の出納高畠井堰土地改良区理事から謝辞をいただいた。

総会では、本会の義経会長が「食料・農業・農村基本法が改正され保全という言葉が明記されたことで土地改良区の役割はさらに重要性が増してきた。また、現在開催中の通常国会においては土地改良法の一部を改正する議論がされている。この法案が通れば土地改良区で発生した突発事故については国、県が機動的に対応できるようになる。今後も国の動向に注視していきたい。」とあいさつ。

来賓の佐藤知事、渡辺農政局次長は「生産基盤の土台となる農業農村整備事業は、生産拡大や生産性向上など農業農村地域の振興に大きな役割を果たしてきた。土地改良振興大会や理事長会との懇談会で地元の声を伺い、ため池改修など積極的に整備推進していく」などと祝辞を述べられた。

続いて総会の議事では、議長に朝地町土地改良区の森田勝祐理事長を選任し、提案した8つの議案が原案どおり承認された。

なお、第6号議案において、生産基盤の整備・保全に必要な事業の企画力を更に強化するために、新たに企画課を創設し会員支援課とため池保全サポートセンターを併せて計画部とし会員が求める事業を積極的に推進。測量・設計・換地の実施部門を整備部と改め更なる会員支援の充実を図るほか、災害対策課については、頻発する災害に迅速に対応するため「災害対策強化方針」に沿って、支援体制の更なる強化を図ることが全会一致で承認された。

また、第8号議案では、銓衡委員会により空席となっている臼杵ブロックの理事及び令和7年4月国による理事総数に占める女性理事の割合を10%以上とする女性参画を推進しており、女性理事2名の補選も併せて行った。同委員会では臼杵ブロックからは野津土地改良区 佐藤勇夫理事長、女性理事は竹尾奈美氏、渡邊隆子氏が銓衡され、その後、総会にて末廣勇銓衡委員長（荒瀬井堰土地改良区理事長）が銓衡結果報告を行い全会一致で承認された。

### 提出議案

- 第1号議案 令和5年度事業報告並びに一般会計、特別会計決算及び財産目録の承認について
- 第2号議案 令和6年度中間監査の報告について
- 第3号議案 令和6年度一般会計並びに特別会計収入支出補正予算の承認について
- 第4号議案 賦課金の賦課並びに徴収方法について
- 第5号議案 令和7年度役員報酬決定について
- 第6号議案 令和7年度事業計画並びに一般会計、特別会計収入支出予算（案）について
- 第7号議案 令和7年度一時借入金の限度及び余裕金の預入先の決定について
- 第8号議案 役員補欠選任について

## 1. 個人表彰

### (1) 土地改良区会員の部

管内	氏名	所属団体名	職名	年齢	経験年数
高田	近藤 芳数	呉崎北部土地改良区	理事	62歳	31年
杵築	本田 知典	大田村土地改良区	総括監事	78歳	15年
大分	佐藤 直	世利川井路土地改良区	事務長	65歳	35年
佐伯	出納 康男	高島井堰土地改良区	理事	78歳	14年
三重	足立 充宜	高柴土地改良区	元理事長	74歳	43年
竹田	猪野 淳憲	荻西部土地改良区	副理事長	63歳	23年
玖珠	佐藤 千尊	飯田土地改良区	事務局長	76歳	18年
日田	湯浅 正徳	五馬本村土地改良区	理事長	66歳	18年
中津	宮久 昭人	荒瀬井堰土地改良区	監事	87歳	13年
宇佐	河野 文利	宇佐土地改良区	総括監事	78歳	18年

### (2) 県関係功労者

氏名	所属団体名	職名	年齢	勤続年数
安東 正浩	農林水産部	審議監	60歳	36年
小山 長則	東部振興局日出水利耕地事務所	課長補佐（総括）	60歳	35年
工藤 和	豊肥振興局大野川上流開発事業事務所	課長補佐（総括）	56歳	38年

## 2. 本会職員表彰

氏名	所属団体名	職名	年齢	勤続年数
森下 健二	事務局	事務局長	60歳	38年

## 3. 感謝状贈呈

団体名	所在地
河津建設株式会社	大分県日田市三芳小淵町151番地



あいさつを述べる義経賢二会長



祝辞を述べられる佐藤知事



受賞者代表謝辞を述べられる出納理事



宮崎雅夫参議院議員のビデオメッセージ

●● 令和7年度に就任した理事のご紹介 ●●



野津土地改良区 理事長  
**佐藤 勇夫**

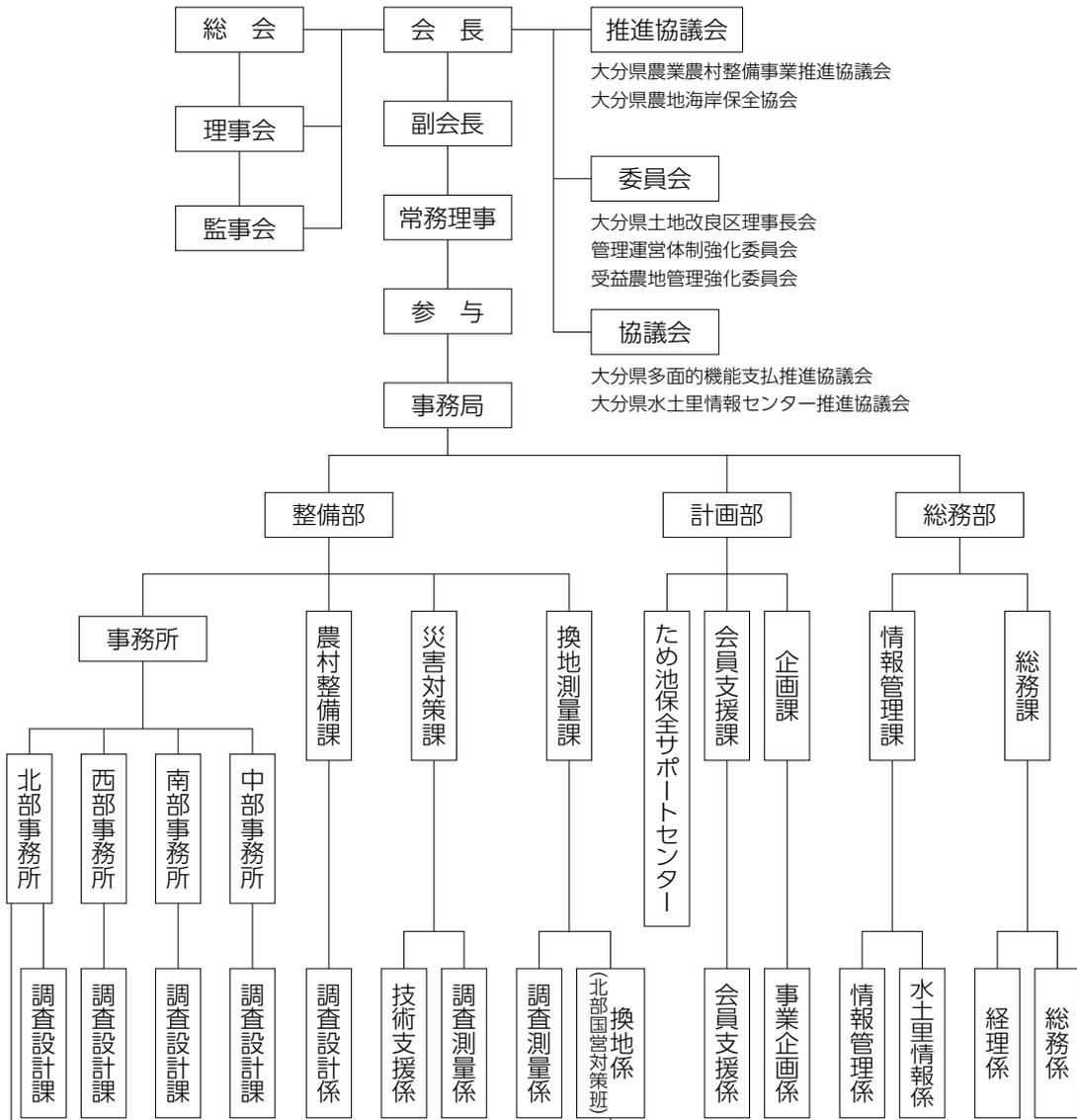


臼杵市農業委員  
ウーマンアグリネットおおいた 会長  
**竹尾 奈美**



株式会社UP 代表取締役  
**渡邊 隆子**

令和7年度 大分県土地改良事業団体連合会組織機構図



県の職員配置

令和7年4月1日、主幹級以上

部署名	職名	氏名
【農林水産部】	部長	渕野 勇
	審議監（農政担当）	信貴 竜人
農地計画課	部参事監兼課長	森迫 光晴
	農地計画監	都留 俊明
	課長補佐（総括）	香嶋 秀史
	課長補佐（総括）	菅原 貴美
	課長補佐（総括）	瀬川 幸弘
	主幹（総括）	山崎 久裕
	主幹	井上 伸也
農地・農村整備課	課長	小林 康二
	参事（総括）	吉武 史弥
	参事（総括）	灘波 悦史
	課長補佐（総括）	辛島 光彦
	課長補佐（総括）	濱田 和樹
	主幹	飯田 照康
大分県中央飛行場 管理事務所	所長	村山 奉勝
農林水産企画課	課長補佐（総括）	谷 博文
工事技術管理室	室長	永野 和範
	主幹（総括）	田中 正浩
	参事	甲斐崎一成
【東京事務所】		
【土木建築部】		
工事検査室	参事（総括）	衛藤 博司
	室長補佐	甲斐 和広
【東部振興局】		
農林基盤部	局長	神崎 文隆
	次長	武野 浩二
	部長	谷山 健一
	課長補佐（総括）	佐保 貴之
	主幹（総括）	矢野 誠也
日出水利耕地 事務所	所長	坂元 大輔
	課長補佐（総括）	清水 恵子
	課長補佐（総括）	河野 幸治
	課長補佐（総括）	小崎 智
	課長補佐（総括）	黒岩 聡
	課長補佐（総括）	中野 篤史
	主幹	吉良 賢太
【中部振興局】		
農林基盤部	局長	上城 哲
	次長	川島栄一郎
	部長	佐藤 広光
	課長補佐（総括）	木村 勝博

部署名	職名	氏名
	課長補佐（総括）	野上 康則
	課長補佐（総括）	池上 正人
	主幹（総括）	坂本 淳一
	主幹	甲斐 智之
【南部振興局】		
農林基盤部	局長	曾根田英雄
	次長	山田 倫久
	部長	小山 隆宏
	課長補佐（総括）	麻生 春治
	主幹（総括）	工藤 博昭
【豊肥振興局】		
農林基盤部	局長	清水 豊
	次長	伊東 浩
	部長	本田 豊治
	課長補佐（総括）	工藤 政彦
	主幹（総括）	赤嶺 康信
	主幹（総括）	小野 貴史
豊後大野水利 耕地事務所	所長	末廣 理
	課長補佐（総括）	田北 茂広
	課長補佐（総括）	木田 俊吉
	主幹（総括）	吉田 友春
大野川上流開発 事業事務所	所長	法野裕二郎
	課長補佐（総括）	牧 徹
	課長補佐（総括）	佐藤 洋祐
	主幹（総括）	伊東 孝浩
	主幹（総括）	豊福 博記
	主幹	後藤 恵史
【西部振興局】		
農林基盤部	局長	高木 政幸
	次長	藤澤 央通
	部長	諫元 伸宏
	課長補佐（総括）	亀井 正彦
	主幹（総括）	有延 滋
	主幹（総括）	園田 耕司
【北部振興局】		
農林基盤部	局長	柴北 友美
	次長	岩武 伸恭
	部長	辻野 泰弘
	課長補佐（総括）	渡邊 敬介
	主幹（総括）	御領園 進
	主幹（総括）	隈田 慎一
	主幹（総括）	渡邊 祐樹
	主幹（総括）	平野 雄志
	主幹	谷 鈴奈

連合会の職員配置

令和7年4月1日

部署名	職名	氏名
総務部	部長	鶴成 厳
総務課	総務部次長 兼総務課長	馬場啓四郎
	課長補佐	工藤 寛嗣
総務係	主任	中村 貴輝
	技術員	久保 拓登
経理係	副主任	首藤 英介
	主任	吉岡 桂介
情報管理課	課長	秋吉 克則
水土里情報係	主任	宇都宮弘樹
	技術員	中津留颯太
情報管理係	主任	福田 達
	技術員	安藤 朔也
計画部	参与兼部長	安東 正浩
企画課	課長	阿南 貴章
	課長補佐	安部 俊郎
事業企画係	主任	塗木 一輝
会員支援課	課長	佐藤 公博
会員支援係	主幹	藤田 義昭
	主任	十塚 弘一
	主任	松田 伸也
ため池保全サポートセンター	センター長	伊藤 信二
	主任	江田 敏寿
	技術員	赤木 悠人
整備部	部長	清水 寿和
農村整備課	課長	河野 智弘
	課長補佐	麻生 晶広

部署名	職名	氏名
調査設計係	主査（派遣）	赤嶺 孝輔
	主任	古庄 巧
	主任（派遣）	山田 翔太
	主任（派遣）	平野 祐輝
	技師	高山 遼大
	技師	甲斐 颯人
	技師	片山 愛理
	技術員	宮迫 裕晟
災害対策課	課長	伊東 哲士
	課長補佐	板井 正信
技術支援係	技師	幡手 貴一
	技師	松本 陽葵
	技術員	麻生 拓海
調査測量係	主任	福田 良貴
	技師	白須 大和
	技師	田北 拓巳
	技術員	三原 玲温
換地測量課	課長	大塚 景介
	課長補佐	重光 宏昌
	課長補佐	工藤 大介
換地係	主任	清家 大志
	主任	前田 侑希
	技師	水澤 陵甫
(北部国営対策班)	課長補佐	佐藤 祐樹
	主査	増岡 樹信
調査測量係	主任	林 智光
	技師	首藤 宏志
	技師	藤縄 愛大
	技術員	赤峰 慶俊

部署名	職名	氏名
	技術員	諸富 愛武
	技術員	園南寺龍乃祐
中部事務所	所長	大石慎一郎
調査設計課		
調査設計係	副主任	松本 浩一
	技師	幡手 幹也
	技師	野元 由翼
南部事務所	所長	中城 英利
	次長	宮内 文康
調査設計課	課長	阿南圭一郎
調査設計係	主任	西川 真
	技師	藤原 大輔
	技師補	児玉 堅
	技師補	吉田 蒼
西部事務所	所長	麻生 賢正
調査設計課	課長	梅本 隆男
調査設計係	技師	重藤 樹弥
	技師補	有永 望叶
北部事務所	所長	河野 浩一
	次長	佐々木光治
調査設計第一課	課長	岡部 真一
調査設計係	主任	東 兵樺
	技師	束野 克実
	技師	北田 圭佑
	技師	柴田 享兵
調査設計第二課	課長	小川 剛
調査設計係	主任	山本 勇樹
	技師	小野 光佑
	技師	藤澤 匠真

# 水土里ネット大分 各部課所長の紹介



## ●総務部 部長 鶴成 巖

この度の人事異動により総務部長を拝命いたしました。今年度より会の組織改編が行われ、3部体制（総務部・計画部・整備部）となり総務部は、総務課と情報管理課の2課体制となります。会員支援と会の健全な運営を柱に引き続き、計画部、整備部と連携をはかり、会一体となって会員の皆様のご要望に添えるように努力してまいります。



## ●整備部 部長 清水 寿和

本年度、整備部長を拝命いたしました。

土地改良法の改正を踏まえ、本会職員の技術力の一層の向上を図るとともに、迅速かつ的確な災害対応が可能となるよう、人材育成にも力を注いでまいります。

あわせて、新たな技術の導入・開発にも積極的に取り組み、会員の皆様の多様なご要望にお応えできるよう、全力を尽くす所存です。

今年度も変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



## ●総務部 次長兼総務課長 馬場 啓四郎

総務部次長兼総務課長を拝命いたしました。

総務課では、会運営や総務全般の業務に加え、総会や理事会、各種協議会といった会議を行っております。

自分自身、総務課は6年ぶりとなりますが、重大なポストを任せられ、その責務の重さに身が引きしめる思いが致しております。

今年度、総務課10名、職員や会員皆様の期待に応えられるよう努力していく所存です。どうぞ、よろしくお願い致します。



## ●情報管理課 課長 秋吉 克則

情報管理課は、情報管理係（積算システム運用管理・工事図書電子化等）及び水土里情報係（水土里情報システム運用保守・問合せ対応等）の業務を行っております。

併せて、県下64団体が加盟する「大分県水土里情報センター推進協議会事務局」も担っており、課員全員で皆様のご要望に添えるよう努力する所存です。



## ●企画課 課長 阿南 貴章

企画課は、計画部とともに今年度より新設されました。農地整備や防災減災事業等の事業化に向けた検討及び新規事業計画の窓口として、皆様のご要望にお応えできるよう全力で対応して参りますので、何卒よろしくお願い致します。



## ●会員支援課 課長 佐藤 公博

今年度より機構改革により計画部会員支援課としてスタートしました。課員4名で、連合会の二本柱の一つである会員支援として会員の皆様による各種相談への対応や機能強化支援事業、多面的機能支払などの各種補助事業に取り組んで参ります。また、今年度も複式簿記等や法改正に伴う諸問題へ迅速な対応を行いながら、会員皆様の支援になるよう出先事務所と連携を図りながら努力して参ります。



● **ため池保全サポートセンター センター長 伊藤 信二**

ため池保全サポートセンターは昨年まで会員支援課内の所属でしたが、このたび新たな計画部に独立して「ため池保全サポートセンター」として新設されました。

貴重な地域資源であるため池の防災減災にかかる保全に向けて、県・市町村等関係の皆さまと連携を図りながら努力してまいり所存ですので、よろしくお願いいたします。



● **農村整備課 課長 河野 智弘**

農村整備課は、ため池やパイプラインなどの農業用施設の調査、農業集落排水事業の計画・実施設計、新技術の研究等を行う調査・設計部門として業務を行っております。

皆様のご要望、生産基盤の整備に貢献できますよう職員一丸となり、努力して参ります。よろしくお願いいたします。



● **災害対策課 課長 伊東 哲士**

災害対策課では、多くの被害を受けた今年の台風10号災害を踏まえ、全職員が災害復旧支援をできる体制を目指すと共に、災害実務研修会を通じて、技術力向上・育成支援を積極的に取り組みます。本年度、職員10名体制にて会員皆様の御要望に応えられるよう努力して参ります。



● **換地測量課 課長 大塚 景介**

換地測量課では、県内一円の業務を行っております。

個人財産に関わる大事な仕事です。事業主体・地元関係者と両輪となり、農業農村整備事業の向上に努めて参ります。

何卒よろしくお願いいたします。



● **中部事務所 所長 大石 慎一郎**

中部事務所は、大分市、由布市、臼杵市、津久見市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っております。総勢5名の事務所ではありますが、会員の皆様方のご要望に真摯に対応させていただきますので、よろしくお願いいたします。



● **南部事務所 所長 中城 英利**

南部事務所では、佐伯市・竹田市・豊後大野市における農業農村整備事業の計画・調査測量・設計業務を行っております。本年度は丁寧な会員支援と土地改良事業の推進にも全力で対応していきます。関係機関より信頼される事務所となるよう頑張ります。



● **西部事務所 所長 麻生 賢正**

西部事務所では、日田市・玖珠町・九重町における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っております。職員数は4名と少数ですが、業務に加え会員の皆様方のご要望に応えられますように職員一同努力して参ります。

本年度も、どうぞ宜しくお願い致します。



● **北部事務所 所長 河野 浩一**

北部事務所では、中津市・宇佐市・豊後高田市・国東市・姫島村・日出町・別府市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っております。職員総勢11名で会員支援並びに事業推進に取り組み、会員の皆様方のご要望等の対応に一層努力して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

# 長い間おつかれさまでした

令和7年3月31日付けで、森下健二事務局長が退職されました。長年にわたり、大分県の農業農村整備事業並びに連合会の発展に対して、ご尽力いただき誠にありがとうございました。今まで大変お疲れ様でした。



## 令和7年度新規採用職員の紹介



中部事務所 の野元 ゆうすけ由翼

この度、新規採用されました。野元由翼です。

実家が農家をしており、災害などで苦勞をしている姿をたくさん見てきましたが、ほかの農家の方々も同じように苦勞されていると思います。少しでもそういった方々の力になりたいと思い、入会しました。

最初はわからないこともたくさんありますが、少しでも早く貢献できるよう常日頃から学ぶ姿勢を大切にし、災害や防災、復旧の力になれるよう努力していきますので、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



災害対策課 まつもと松本 はるき陽葵

この度、新規採用されました松本陽葵です。

日本文理大学経営経済学部経営経済学科を卒業しました。地元は熊本県になりますが大学の時大分に来て大分の人々の温かさに感動し大分の人たちの力に少しでもなりたいと思っています。まだまだ分からないことばかりですが1日でも早く役に立てるように頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



総務課 くぼ久保 たくと拓登

この度、新規採用されました久保拓登です。

別府大学国際経営学科を卒業しました。これから社会人としての自覚を忘れずに行動していき立派な社会人になりたいと思います。

持続可能な農業を実現するために、そういった知識などを学びたいと思います。

また、色々な資格などを取得して少しでも早く貢献できるように頑張りたいと思います。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



災害対策課 たきた田北 たくみ拓巳

この度、新規採用されました田北拓巳です。

別府大学国際経営学科を卒業しました。別府市出身なので、ずっとお世話になっている大分県に貢献し恩返ししたいと思います。また、これまで支えてもらった両親や周りの人々にも感謝し、成長できる行動を取り周りの人たちに認められる人材になれるように日々努力していきたいと思っています。これからご指導のほどよろしくお願いいたします。



### ため池保全サポートセンター あかき ゆうと 赤木 悠人

この度、新規採用されました。赤木悠人です。

大分商業高校情報処理科を卒業しました。土木の経験はありませんが、高校の課題研究では地方創生について考え、地元大分県の未来のためにどうすべきかを調べ考えてきました。今までは想像するだけだったものが、これからの仕事では実際に大分県のために様々な課題の解決に携わることができる。そのことにとても喜びを感じています。まだ土木の知識もなく分からないことも多いですが、少しでも連合会に貢献出来るよう努力していきたいと思しますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。



### 災害対策課 あそう たくみ 麻生 拓海

この度、新規採用されました麻生拓海です。

大分工業高校土木科を卒業しました。高校で学んだ一般土木の知識を生かしていくと共に仕事を通して技術を磨いていきたいと思います。

また、社会人になるのでその一歩として挨拶や礼儀を身に付けていきます。

地元大分の食料安定供給や農業生産活動に貢献できるように日々努力していくので、ご指導のほどよろしくお願い致します。



### 換地測量課 えんなんじ りゅうのすけ 園南寺 龍乃祐

この度、新規採用されました園南寺龍乃祐です。

大分市出身として、水土里ネット大分で地域農業の発展に貢献したいと思っています。

現在の日本は、食料自給率の低下や農業活動の高齢化など、多くの課題を抱えています。水土里ネットの活動を通じて、農業用水の安全確保や農地の有効活用を推進し、持続可能な地域農業の実現に尽力したいと思います。

一日でも早く連合会の一員になれるよう努力しますのでこれからご指導よろしくお願い致します。



### 災害対策課 みはら れん 三原 玲温

この度、新規採用されました三原玲温です。

大分商業高校商業科を卒業しました。高校時代は、主にビジネスの基礎について学びましたが、農業土木についてはゼロからのスタートなので今後は、研修や現場での経験を通じて、農業土木の基礎を学び、少しでも早く連合会に貢献できるように頑張っていきます。また、挨拶や礼儀など当たり前にできることをしっかりしていきたいです。わからないことが多く知識も経験ありませんが日々努力し精一杯頑張っていきます。これからご指導のほどよろしくお願い致します。



## 令和6年度 資格取得者

令和6年度資格試験に以下の方が合格されました。おめでとうございます。

<b>土地改良換地士</b>	換地測量課	水澤 陵甫
<b>農業土木技術管理士</b>	農村整備計画課	平野 祐輝
	中部事務所	宮尾 文康
<b>農業農村地理情報システム技士 (NN-GIS)</b>	情報管理課	福田 達
<b>会計指導員</b>	会員支援課	十塚 弘一
	会員支援課	江田 敏寿
<b>第一種衛生管理者</b>	総務課	工藤 寛嗣
<b>2級土木施工管理技士</b>	豊後大野市農林整備課	関屋 隆
	会員支援課	十塚 弘一
	総務課	中村 貴輝
<b>2級土木施工管理技士補</b>	豊後大野市農林整備課	小崎 雄大
	豊後大野市農林整備課	三浦 太陽
	玖珠町農林課	井上 智啓
	世利川井路土地改良区	佐藤 輝年
	中部事務所	幡手 幹也
	北部事務所	小野 光佑

※所属は令和7年3月31日時点

本会では2級土木施工管理技士の取得を目指し、昨年度は6月から10月の期間、年5回、本会有資格者等が講師となり土木一般から環境保全対策の一連の内容、並びに経験記述の添削など行っています

昨年度は、市町村・土地改良区職員の参加もあり見事合格されています。

本年度も引き続き勉強会を開催していきますので、参加を希望される会員の方は、整備部農村整備課まで連絡ください。

# 第11回大分県土地改良振興大会開催のお知らせ

## 第11回大分県土地改良振興大会の開催 ～「水」「土」「里」の資源を、次世代へ～

昨今の農業・農村においては、食料安全保障の議論が高まりつつある中、食料自給率強化に向け、その基盤づくりを担う土地改良分野への期待は大きくなるものと受け止めています。

しかしながら、過疎化や高齢化、担い手不足等による地域活力の低下に加え、大規模地震や気候変動による豪雨災害の多発など、多くの課題が山積している状況にあります。

また、本県においては、中山間地域が七割を占め、数多くの水路トンネルや「ため池」等の維持管理に多大な労力とコストを費やしています。更に、農業水利施設の大半が更新時期を迎えている状況下で、国土強靱化の観点から早急な更新整備と防災・減災対策を図るとともに、集落機能の維持に努めていかなければなりません。

このような背景から、『「水」「土」「里」の資源を、次世代へ』の思いを共有する県下の土地改良関係者参集のもと、農業・農村の持続的発展と、更なる農業農村整備事業の推進を目的として、第11回目となる「大分県土地改良振興大会」を開催します。

- 主 催** 大分県土地改良事業団体連合会・大分県農業農村整備事業推進協議会・大分県土地改良区理事長会
- 日 時** 令和7年6月27日（金）10：00～
- 場 所** 大分市「ホルトホール大分」大ホール
- 内 容** 主催者・来賓挨拶、意見発表「地域の声」、大会決議採択 他

水土里ネット大分のHPはこちらから  
<http://midorinet-oita.or.jp/>



### 水土里ネット大分 大分県土地改良事業団体連合会

- 事務局 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号  
TEL097-536-6631 FAX097-536-6080
- 中部事務所 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号（事務局3F）  
TEL097-536-6632 FAX097-534-4338
- 南部事務所 〒879-7125 豊後大野市三重町内田742-3  
TEL0974-22-1744 FAX0974-22-1798
- 西部事務所 〒879-4413 玖珠郡玖珠町大字塚脇472-2  
TEL0973-72-1952 FAX0973-72-3419
- 北部事務所 〒879-0453 宇佐市大字上田1301-2  
TEL0978-32-1740 FAX0978-33-3186

